



コロナ禍の

避難行動 を考える



新型コロナウイルス感染症などの感染症が流行している状況では、避難所が密な状態となり、感染リスクを高める恐れがあります。



危険が差し迫っている場合は、ためらわず安全な場所や避難所に早めに避難していただくことを大前提として、感染症のリスクを下げるために避難先を分散させる「分散避難」もご検討ください。



問い合わせ 防災まちづくり推進課 28-6934 FAX 28-6057

災害が起きる前に「ハザードマップ」を確認しておきましょう！

ハザードマップとは、自然災害による被害が想定される範囲を地図上で示したものであり、身のまわりでどんな災害が起こり得るのか簡単に確認できます。また、避難所なども記載しています。

あらかじめ、自宅周辺の危険を確認し、避難できる準備をしておきましょう。

● 各種ハザードマップ
(市ホームページ) ▶



四国中央市 LINE 公式アカウント
警報発令など、緊急情報をお届けします

友だち登録は
こちらから



ためらわず避難してください！



大事なものは、あなた自身の命を守ることです。感染症が怖いから避難所に行くのをやめるのではなく、危険が差し迫っている場合は、すぐに安全な場所や避難所へ避難してください。

市では、感染症対策を講じたうえで避難所を運営していますので、ためらわず避難所へ移動してください。

避難所に持っていくもの



概ね7日分の水や食料のほかに、生活必需品、防災用品を備えておきましょう。

また、各自の感染症対策として、マスクや手指消毒液、体温計などを持参して、発熱や咳などの症状があれば、避難所のスタッフにすぐ伝えましょう。

分散避難とは

新型コロナウイルス感染症などの感染症が流行している状況では、地域住民の全てが従来の避難所避難を実施すると、避難所が密な状態となり感染リスクを高めてしまい、災害による被害に加えて感染症による二次被害が拡大する恐れがあります。そこで、「身の安全の確保」と「感染症のリスクの低下」を両立させるため、避難先を分散して避難していただくことを「分散避難」といいます。

在宅避難



避難とは「難」を「避ける」ことです。お住まいのご自宅が安全な方は、避難所へ避難する必要はありません。ご自宅の方が安全と思われる場合には、ご自宅に留まる「在宅避難」を検討しましょう。

縁故避難



安全な地域に住んでいる親戚や友人・知人宅なども避難先となりえます。事前に相談しておき、そちらに避難することも検討しておきましょう。

その他の安全確保



浸水のリスクがある地域や、山の斜面、倒壊した建物の近くなどの危険な場所でなければ、一時的に車の中で過ごす「車中泊」も考えられます。その場合は、定期的な運動や換気などを心がけてください。